HIBIKI
～市民と響き合う議会～
響 ひびき
八王子市議会だより
令和８年(2026年)
第３回定例会
No.284
令和８年(2026年)
11月15日発行

健全な財政運営に向けて
令和７年度の決算を議会がチェック！



「せなちゃんと紅葉」
（楢原鹿島公園）

今号は、楢原町在住の **木谷（きたに） 龍平（りゅうへい）** さん の作品です。

楢原鹿島公園（ならはらかしまこうえん）

楢原小学校の近くにある公園で、子どもたちが遊べる遊具もあります。園内には所々に樹木が植えられ、秋にはイチョウが鮮やかに色付き、公園を彩ります。

決算審議

＼どう使った!?　市のお金／

令和７年度 決算議案を審議

７年度決算議案は、決算等審査特別委員会で審査し、本会議で記名投票により、賛成30票、反対７票で原案のとおり認定しました。

２～６ページでは、決算議案に対する主な審議内容などを掲載しています。

議会がチェック!
未来へつなぐ



決算議案が認定されるまでの流れ ～今定例会の場合

P …本号での掲載ページ

決算の審議は、９月に開会する第３回定例会で行い、会期中に採決します。

本市議会は、議長を除く全議員で構成する決算等審査特別委員会を設置して決算議案を審査します。

また、より詳細な検討のため、分科会（総務企画、文教経済、厚生、都市環境）を設置して審査しています。

9/24 本会議

市長による決算議案の提案説明

決算議案に対する会派代表質疑 P３



提案説明を行う初宿（しょやど）市長

9/25 全体会議

決算議案の審査（総括質疑） P４・５

9/28・9/29 分科会

決算議案の審査

- 総務企画分科会
- 文教経済分科会
- 厚生分科会
- 都市環境分科会



厚生分科会

10/５ 全体会議

各分科会報告、意見、採決

10/７ 本会議

決算等審査特別委員会審査報告、討論 P６



委員長による審査報告



議長を除く全議員による記名投票

記名投票による採決
賛成30票、反対７票で

認定

決算等審査特別委員会

今後の事業にいかす

市長が説明した令和７年度決算

- ●一般会計は39億8,100万円の黒字
- ●貯金(基金残高)は579億2,000万円
- ●借金(市債残高)は1,651億5,000万円
- ●財政の健全性を十分に確保

７年度決算の内容はこちら⇒

一般会計の歳入・歳出のトップ３

	歳　入		歳　出
1	**市税** 個人・法人市民税など	1	**民生費** 児童福祉、生活福祉など
2	**国庫支出金** 国からの補助金など	2	**総務費** ICT 活用、市民活動など
3	**都支出金** 都からの補助金など	3	**教育費** 学校教育、生涯学習など

会派代表質疑

わが会派は 決算のここをチェック！

９月24日の本会議で、市長が提案した決算議案に対して、各会派が代表質疑を行いました。
主な質疑の要旨を発言順に掲載しています。

録画配信はこちら⇒

日本共産党 八王子市議会議員団 望月 翔平



不正を起こさない取り組みは

問　**７年度、市職員の通勤手当等の不正受給問題が明らかになったが、長期間不正を是正できなかった組織の管理体制等の課題について、どのように認識しているのか。**

答　職員個人の要因のほか、確認体制の不備等、組織的課題があったと認識している。８年３月に再発防止策を策定し、組織的な管理体制の強化等、取り組みを進めている。

公金の適正な支出を

問　**中小企業者等への電気・ガス料金高騰対策事業者支援は、委託料が交付総額の約７割となっているが、妥当な支出と判断しているのか。**

答　執行予定額の設定が不十分であったと認識している。定期監査でも、事業経費の妥当性等について指摘されており、重く受け止めている。



適切な管理体制で不正の是正へ

自民党新政会 西室 真希



夏休み中の昼食提供の評価は

問　**子どもの健やかな育ちと保護者の負担軽減・就労継続の観点から、夏休み中の学童保育所の昼食提供をどのように評価しているのか。**

答　登所した児童の約９割が利用しており、弁当づくりの負担軽減のほか、食中毒リスク等への精神的な負担軽減にも寄与し、就労継続に有効な子育て支援策と考えている。

適正な基金の管理を

問　**本市の基金残高は、多摩26市で比較してどのような水準にあるのか。**

答　７年度決算の基金残高を市民１人当たりに換算すると、約９万２千円であり、多摩26市では16番目の残高となる。基金を単体で捉えず、資産の状況や市債とのバランスに着目した財政運営に努める必要があると認識している。



昼食提供で保護者の就労継続支援を

立憲民主・市民の会 森 喜彦



共創と地域自治への見解は

問　**共創と地域自治の推進は、単なる民間活力の活用ではなく、地域で活動する市民や企業等と良好な関係を築き、市職員も学び、成長することが重要と考えるが市の見解は。**

答　７年度開設の「共創の窓口」は新たな取り組みの創出とともに、職員が成長する機会となった。引き続き、市民力・地域力に、職員力・組織力を発揮し、持続可能な地域社会実現に取り組んでいく。

職務に向き合える環境整備へ

問　**全庁ＢＰＲ※の推進で創出した人的資源をいかし、市民サービス向上と、職員が働きやすい職場環境を両立することへの考えは。**

答　各事業の業務量を注視し、適正な人員配置等に努め、市民サービス向上と、職場環境の整備を進めていく。



市民と共に地域自治の推進を

八王子市議会公明党 冨永 純子



物価高騰対策の評価は

問　**７年度に実施した物価高騰対策について、どのように評価しているのか。**

答　物価高騰の影響が長期化する中、国の交付金を活用し、都とも連携するなど、市民や事業者への幅広い対策を講じてきた。必要な支援を切れ目なく実施したことで、市民生活や地域経済の多様なニーズに応えることにつながったと評価している。

補聴器購入費助成の効果は

問　**聴力の低下は、コミュニケーション等に影響するため、適切な支援が重要と考える。７年度に開始した補聴器購入費助成の効果は。**

答　購入者へのアンケートでは、聞こえの改善の傾向が見られ、事業目的である社会参加と介護予防に一定の効果があったと認識している。



物価高騰の影響を的確に捉えた支援を

※組織横断・課・係等のあらゆるレベルの業務について、既存のやり方を可視化（把握・分析）し、効果・効率的な改善策を立案・実行する一連の取り組み

委員会の審査から　総括質疑


小林 秀司（こばやし しゅうじ） 委員長


市川 克宏（いちかわ かつひろ） 副委員長

７年度決算議案は、決算等審査特別委員会（小林秀司委員長、市川克宏副委員長）に付託され、全体会議及び分科会で慎重に審査しました。ここでは、９月25日に行った全体会議での総括質疑の主な質疑と答弁の要旨について掲載しています。

録画配信はこちら⇐

男女共同参画社会の実現のため、困難な問題を抱える女性への支援等を行った。

ＤＶ被害者支援の充実を

問　**ＤＶ被害者支援の会議と、要保護児童支援の会議を連携して開催するようになってから２年が経過したが、連携した開催についての評価を聞きたい。**

答　この２つの会議は共有する情報が類似しているため、連携して開催することとした。単独開催より参加機関が多岐にわたることから、幅広いネットワークが構築できていると評価している。

問　**ＤＶ被害者支援と要保護児童支援では、支援の主体となる関係機関等が異なる部分があることを踏まえ、支援の充実を図ってもらいたいがどうか。**

答　より多くの機関と連携する会議の機会を活用し、引き続き、ＤＶ被害者支援を充実していく。

ＤＸ推進計画に基づき、市民の利便性拡大と業務の効率化を図った。

７年度までのＤＸ推進計画の取り組みは

問　**７年度に終了したＤＸ推進計画に基づく取り組みの成果は。**

答　各所管の業務課題に対応するとともに、効果的な取り組みを庁内で共有し、他所管への展開を進めてきた。その結果、キャッシュレス決済や、オンライン手続きなどの活用が広がるとともに、職員による生成ＡＩ※1の活用が進み、業務効率化と市民サービスの向上を両立する取り組みを全庁的に展開することができた。

問　**マイナンバーカードの利活用について、どのような取り組みが進んだのか。**

答　各種手続きのオンライン申請での活用など、サービス拡充を進めており、市民の利便性向上や、手続きのデジタル化が着実に進んでいると認識している。



ＤＸ推進計画は、８年度から新たな計画へ

校内別室指導支援員を配置し、児童・生徒の状況に応じた支援を行った。

児童・生徒の登校支援に向けた取り組みは

問　**７年度は、市内20校に校内別室指導支援員※2を配置したとのことだが、その成果について聞きたい。**

答　教室に入ることに不安を抱えていた児童・生徒が、支援員と継続的にかかわり、信頼関係を築くことで、給食や、行事に向けての学級活動に参加できるようになったなどの成果があった。

問　**校内別室指導をきっかけに、児童・生徒の学校に行きたいという気持ちにつながった好事例は、他の学校でも取り組めるように情報共有することが重要と考える。全市立学校に、好事例を広げる取り組みは。**

答　校長会や、全市立学校の登校支援担当の教員が参加する研修会において、校内別室指導の成果や、実践内容を定期的に共有している。今後も、培った実践内容や知見を全市立学校で共有し、校内別室指導の充実を図るとともに、児童・生徒一人ひとりの状況に寄り添った支援体制の強化に努めていく。

支援金支給のほか、相談員派遣等を行い、中小企業者等の負担軽減等を図った。

厳しい経営環境にある市内事業者への支援は

問　**物価高騰が続く中、７年度は、どのように中小企業者等への支援を行ったのか。**

答　物価高騰やエネルギー価格の影響を受けている市内中小企業者等への支援金支給を２回にわたり実施した。小規模事業者でも対象になりやすい制度とした上で、営業利益が赤字の事業者等を対象とし、より厳しい経営環境の事業者への支援を行った。また、相談員派遣による伴走支援を実施し、ＤＸ推進等を通じた経営改善への支援を行った。


市内中小企業者等の経営改善への支援も実施

※1学習したデータをもとに、テキスト・画像・動画・音声などの多様な形式の情報を新たに生成する人工知能（ＡＩ）の一種
※2学級で過ごすことは難しいが、校内の別室であれば登校できる児童・生徒に対して、別室で学習指導や相談対応等を行う支援員

決算等審査特別

議長を除く全議員で構成する
決算等審査特別委員会で
決算議案を審査



保育サービス推進や母子保健事業の充実で、さらなる子育て環境整備を図った。

問　**待機児童対策や、保育士の配置など、保育所の体制整備に、どのように取り組んだのか聞きたい。**

答　市全体では、申込数を上回る定員を確保している。また、本市は国の保育士配置基準を上回る園に運営費の加算を行っており、7年度もすべての園に加算を行ったことから、子どもたちの保育に必要な体制を確保できたと考えている。

問　**産後ケアについて、7年度は委託先を市外の医療機関等にも拡充し、利用者数も増えたが市の評価は。**

答　隣接市への委託先拡充により利便性が向上し、利用者の選択肢も広がった。また、利用時の事前申請を廃止し、すべての妊婦が対象の面談で、産後ケアの利用券を渡したことにより、必要な方に支援が届きやすい環境整備が進んだと評価している。今後も、受け入れ先のさらなる拡大に努めていく。

子育てしやすいまちづくりに向けた支援は



母親・赤ちゃんのケアや育児相談を行う産後ケア

法に基づき、各種予防接種を実施し、感染症のまん延・発病の防止等に努めた。

問　**子宮頸(けい)がんワクチンのキャッチアップ接種※が8年3月で終了したが、その結果をどのように捉えているのか。**

答　4年度から7年度まで実施したキャッチアップ接種完了率は、約4割となっている。接種機会を逃した方に対し、接種機会を確保できたことから、子宮頸がん予防の推進に、一定の成果があったと認識している。一方で、対象者全員への接種には至っていないことから、今後も、国の方針を踏まえながら、ワクチンの有効性や、安全性に関する適切な情報提供に努めていく。

キャッチアップ接種の終了を受けて

市民団体への支援や人材育成等を行い、市民主体のまちなか緑化推進を図った。

問　**まちなか緑化事業の特徴について聞きたい。**

答　本事業は、公共的な場所への花壇制作を学ぶ講座を通じて、人材育成に重点を置いていることが特徴である。講座を修了した市民ボランティアが制作した質の高い花壇は、まちの景観づくりに貢献しており、コミュニティ形成等にも効果があると考えている。

問　**本事業の7年度の取り組み内容は。**

答　戸吹スポーツ公園において、新たに市民団体による花壇整備活動への支援を開始したほか、市内高齢者施設の敷地内での、認知症普及啓発カラーのオレンジ色を取り入れた花壇制作への支援も行った。

まちのみどりの創出に向けて



まちなか緑化事業で市民ボランティアにより整備された花壇

高齢者等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居促進を図った。

問　**住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居への促進には、民間賃貸住宅を増やすことが必要と考えるが、どのように取り組んだのか。**

答　7年度は低廉な家賃で入居できる家賃補助対象住宅の登録募集を2回行い、民間賃貸住宅等を新たに13戸登録したほか、住宅改修費の補助などを行った。

問　**7年10月の住宅セーフティネット法改正で新たに示された、居住サポート住宅について、福祉所管と連携した取り組みは。**

答　居住サポート住宅の制度開始に先立ち、福祉所管と複数回協議を行い、周知方法や事務手続きなどの準備を進めてきた。また、庁内連携の強化を図るため、横断的な検討を行える体制を整えている。

居住支援の取り組みは

※積極的な勧奨を差し控えていた期間に子宮頸がんワクチンの定期接種の対象であった方に、無償で実施する接種

討論

令和７年度決算議案 このような理由で 賛成しました 反対しました

10月７日の本会議で、７年度決算議案の採決に先立ち、議員が賛成・反対のそれぞれの立場から討論を行いました。

ここでは、各議員の主な討論内容を掲載しています。

録画配信はこちら⇒

賛成　自民党新政会　岸田（きしだ） 功典（こうすけ）



将来に期待の持てる市政運営を

経済や社会環境が大きく変化する中、７回の補正予算を組み、物価高騰対策として、国・都と連携し、柔軟かつ迅速に各種支援策を実施したことを評価する。

また、妊産婦、乳児から高齢者まで、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みについても、高く評価する。

財政健全化の維持・継続も重要だが、経済的・社会的便益をもたらす、費用対効果が高い事業には積極的に投資を行い、将来に期待の持てる市政運営を求め、本決算に賛成する。

賛成　八王子市議会公明党　冨永（とみなが） 純子（じゅんこ）



今後も必要な支援が届く取り組みを

７年度は社会経済情勢の変化や新たな行政需要に対し、７回の補正予算を組み、市民生活を守る施策を講じるとともに、将来を見据えた取り組みを着実に進めてきたことを評価する。

また、２歳までの第１子の保育料無償化など、子育てに掛かる負担を社会全体で支える取り組みの具体化を高く評価する。

今後も、市民生活や事業者を取り巻く状況を的確に捉え、必要な方に必要な支援が届くよう、迅速かつ柔軟に対応することを要望し、本決算に賛成する。

賛成　立憲民主・市民の会　安藤（あんどう） 修三（おさみ）



再発防止策の徹底で信頼回復を

７年度も、市税・各種徴収金共に高い収入率を達成している。これは、市民から市への信頼・理解・協力の賜物であると考えられ、取り組みを評価する。

一方で、７年度に発覚した組織的な通勤手当不正受給等の問題は、市への信頼を損なう重大な問題である。市民に義務を課すに当たり、職員には高い倫理観と綱紀保持が求められる。

この問題への市長の責任の取り方には疑問があり残念だが、再発防止策の徹底と、信頼回復を期待し、本決算に賛成する。

反対　日本共産党 八王子市議会議員団　市川（いちかわ） 克宏（かつひろ）



実態に合わない過大な委託料は問題

７年度に中小企業者等への電気・ガス料金高騰対策事業者支援金の交付業務を委託し、交付実績が想定の約３分の１だったが、交付総額の約７割となる委託料を、契約変更せずに支出したことは、市民の理解を得られるものではない。業務量を適切に見積もるのは、公金を支出する上で、市の当然の責任である。

これまで、類似事業でも過大な委託料を指摘してきたが、是正されず、本件は定期監査でも指摘を受けた重大な問題であることから、本決算に反対する。

諸派

賛成　高橋（たかはし） 剛（ごう）



さらなる検証でより大きな効果を

安定した財政運営を評価する。新たな制度やイベントの実施で終わらせず、市民・地域の変化まで詳細に検証し、次の改善につなげ、大きな効果を生み出すことを求め、本決算に賛成する。

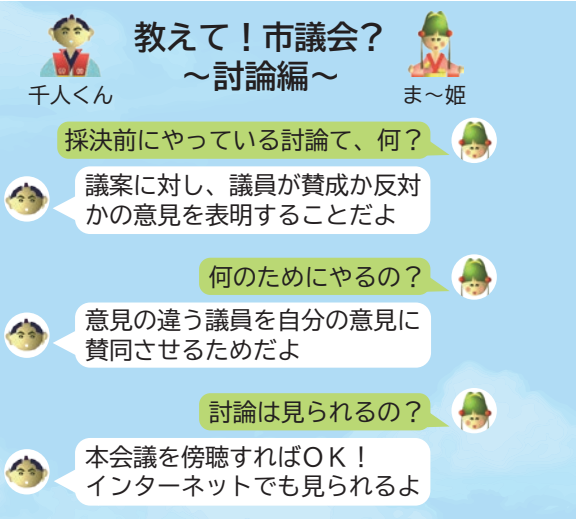
反対　金子（かねこ） 亜希子（あきこ）



市民の安心につながる事業に財源を

市民に近い基礎自治体としては、経済成長や観光振興以上に、市民生活の土台を支える社会保障の充実を大きな方針として、市民に示す必要があったことを指摘し、本決算に反対する。

諸派＝会派に所属しない議員



令和8年 第3回 定例会

本会議

市長提出議案30件を可決

8年第3回定例会は、9月1日に開会し、決算認定議案を含む市長提出議案30件、議員提出議案4件を可決しました。可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

全議案の審議結果及び教育委員会委員等の氏名は10ページへ

付託を省略した議案

■教育委員会委員の任命
■公平委員会委員の選任
■固定資産評価審査委員会委員の選任
■自治功労者の推戴



本会議のようす（今定例会の会期は9月1日～10月7日）

議員提出議案

議員提出議案は、意見書4件を審議し、可決しました。可決した意見書は、議長名で政府等に送付しました。

可決した意見書

■米国産一般流通用生鮮ジャガイモの輸入解禁を見合わせることを求める意見書

政府は米国産一般流通用生鮮ジャガイモの輸入解禁に向け、植物防疫法の省令改正手続きを進めている。

しかし、国内では病害虫被害への対応が長年続いており、全面輸入解禁に伴うリスクを予防的な観点から考えることが重要である。

よって、国内農業の生産基盤と食料安全保障を強化し、厳格な植物検疫制度の堅持と、輸入解禁に向けた手続きの中止を強く求めるもの。

■心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書

都の心身障害者医療費助成制度は重度の障害者を対象としており、愛の手帳3度・4度所持者等、障害の程度が中度・軽度の方は対象外である。

しかし、障害の程度が中度・軽度であっても、経済的な負担能力が高いとは言えず、継続的な通院や健康管理を必要とする方も少なくない。

よって、医療ニーズの高さや経済状況等、心身障害者の生活実態に即した対象者の拡大を図り、制度の拡充を強く求めるもの。

■地方財政の充実・強化に関する意見書

地方自治体には、少子・高齢化に伴う社会保障制度の整備や、子育て施策、自治体DX、脱炭素化、物価高騰対策等、多岐にわたる新たな役割が求められている。一方で、人員不足による職場の疲弊感は深刻化しており、また、物価高騰・賃金上昇に伴う行政コストは増加している。

よって、9年度の地方財政の検討に当たっては、増大する地方自治体の財政需要を的確に反映させ、充実した地方財政の実現を図るため、十分な財政措置を講じることを要望するもの。

■非核三原則の堅持を求める意見書

非核三原則は、我が国の平和国家としての根幹をなす理念である。今日、国際社会の緊張が高まり、安全保障環境の厳しさを指摘する声がある中、核兵器の非人道性を改めて世界に示し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた歩みを止めることなく進めることが求められている。

よって、引き続き非核三原則を堅持し、国際社会における核兵器廃絶と恒久平和の実現に向け、主体的役割を果たすことを強く求めるもの。

委員会

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案16件は、各委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日　9月9日

■消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員等の損害補償に関する金額の規定を整備

問　**職の地方公務員として市民に活躍してもらっている。もし、消防団員が公務災害で命を落としてしまった場合の補償額について、市はどのように考えているのか。**

答　消防団員は、災害時等に頼りになる実力部隊と考えている。本改正に伴い、葬儀に掛かる費用の補償額については、33万円に、階級や勤務年数により定めた補償基礎額の30倍に相当する金額を加えた金額となる。そのほか、扶養親族の人数や年齢に応じた加算も行う。万が一の場合には、定められた補償の中で、最大限の配慮を行っていきたいと考えている。

結果　可決すべきものと決定

文教経済委員会

開催日　9月9日

■学校設置条例の一部改正



たがの杜義務教育学校を新たに設置

問　**9年4月に2校目の義務教育学校である、たがの杜義務教育学校が開校となる。地域や学校など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中、どのように学校づくりを進めていくのか。**

答　たがの杜義務教育学校は、他の地域に比べて、かかわる町会の数が多いという地域特性がある。既存の義務教育学校の考え方を踏襲するのではなく、この地域の独自色を出し、義務教育学校の形成に向けて進めていきたい。



建物内部の設備工事等を進めている、たがの杜義務教育学校（8年8月末時点）

問　**学校づくりについて、地域住民と意見交換をする場には、学校の主役である児童・生徒や、卒業生の若者が必要と考えるがどうか。**

答　学校づくりには、子どもたちの意見の反映は必要不可欠と考えている。新たな学校をどのようにしていきたいかなど、子どもたちの声を丁寧に聞き取りながら進めていきたい。

結果　可決すべきものと決定

■歴史・郷土ミュージアム条例の一部改正

事業の規定に資料収集・管理の方針策定を追加

問　**今後、数が多くなり保管しきれなくなった収蔵品は、廃棄することも必要になると考えるが、どのように認識しているのか。**

答　大事な資料を将来にわたり確実に保存するため、必要な方針の策定を考えており、現時点では、廃棄を前提に考えてはいない。

問　**資料は収集するだけではなく、活用の方向性を定めなければ、保管しきれなくなる懸念があるが、市の見解は。**

答　方針策定に当たり、資料の優先順位付け等を整理する規定を設けることを検討している。

結果　可決すべきものと決定

厚生委員会

開催日　9月10日

■介護保険特別会計補正予算

認定調査業務にAIチェックシステムを導入

問　**要介護・要支援認定の申請に基づき行う認定調査に、「調査票作成・整合性AIチェックシステム」を導入するとのことである。導入により、想定される効果について聞きたい。**

答　これまで、認定調査員が作成した調査票の内容に矛盾がないか等のチェックは、人の目で行ってきたが、システム導入によりAIで確認することで、精度も事務の効率も上がると考えている。本市は、要介護・要支援認定の申請受付から認定結果を出すまでに、7年度の平均では40.7日掛かっているが、本システム導入により、3.5日ほど短縮できる想定である。

問　**AIによるチェックの精度については、どのように認識しているのか。**

答　既にシステムを導入している他自治体への視察を行い、精度の状況を確認し、問題ないと考えている。

問　**国の介護情報基盤※整備事業に併せてDXを推進するとのことだが、紙からデジタルに移行することで、介護に関する個人情報の取り扱いが変わることはあるのか。**

答　介護に関する個人情報は、デジタルに移行しても、従来と変わらず、本人の同意に基づく利用に限られ、アクセス権限も管理される仕組みになっている。



問　**要介護・要支援認定には、主治医が作成する意見書も必要であり、意見書をもらうのに日数が掛かることもあると聞く。今後は、調査票だけではなく、意見書も含めてデジタル化し、全体的に整備できれば、ミスを減らすとともに、さらに日数の短縮もできるのではないか。**

答　現在、意見書は郵送や直接の提出になっているが、介護情報基盤の整備後は、オンライン提出になるため、郵送の日数分は確実に削減できるものと考えている。

結果　可決すべきものと決定

都市環境委員会

開催日　9月10日

■高尾駅南北自由通路新設工事委託契約の締結

高尾駅周辺の利便性向上のため南北自由通路を整備

問　**高尾駅周辺の人の往来や利便性を高めるため、高尾駅に南北自由通路を整備するとのことである。大型事業である本事業費の妥当性について、どのように検証したのか。**

答　鉄道事業者と詳細な設計協議を行うとともに、鉄道事業者の設計の妥当性を検証するため、第三者機関への調査業務委託を通じて確認した。今後、事業の執行状況について鉄道事業者から報告を受けるとともに、施工方法等について随時確認し、適切なコスト管理に努めていく。

問　**南北自由通路の整備に当たり、事業の効果が算出できる、費用便益分析などを行っているのか。**

答　本整備に当たり、時間短縮効果などの費用便益効果については試算している。今後は利便性向上だけではなく、地域経済への波及効果等、可能な限り定量的に把握し、効

※介護に関する情報等を利用者本人・市区町村・介護事業所・医療機関等がデジタルで共有し、各種手続きの利便性向上や、業務の効率化等を図るための情報共有の基盤となる国のシステム。全国の市区町村で活用に向けた準備が進められている

果の算出を行っていく。

問　**高尾駅は、多くの市民が利用する駅であるとともに、日本遺産である高尾山への観光客を受け入れる重要な駅と考える。高齢者や障害者等にも利用しやすい駅に向けた、バリアフリー化の取り組みについて聞きたい。**

答　南北自由通路の整備を行う中で、エレベーターやエスカレーターの設置等を行う予定である。駅の利便性と安全性の向上に向け、しっかりと取り組みを進めていく。



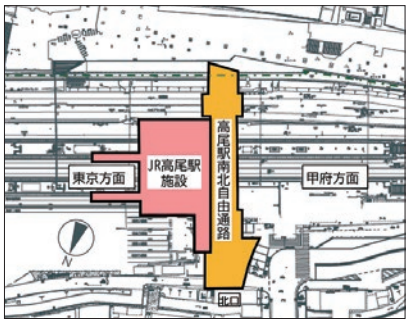


問　**工期は16年3月までの予定となっており、期間が非常に長く、駅利用者の安全面が懸念される。安全確保について、市の考えは。**

答　今回の工事は、鉄道施設の中で実施する特殊な工事であり、安全対策が最優先であると考えている。工事期間中の利用者の動線変更や駅前広場の利用環境への影響について、関係機関と連携し、利用者が安全で円滑な通行ができるよう、必要な対策を講じていきたいと考えている。

結果　可決すべきものと決定

高尾駅周辺整備事業はこちら⇓



高尾駅南北自由通路整備後のイメージ図

■一般廃棄物指定収集袋の取得（2件）

一般廃棄物処分用の指定収集袋を購入

問　**中東情勢の影響による供給不足に備え、ごみ指定収集袋を複数年分購入し、備蓄することも必要と考えるがどうか。**

答　現在、3カ月分の在庫を確保しているが、欠品が生じないよう、今回、1年分を調達するものである。今後も、社会情勢の変化を踏まえた検討は必要と考えている。

結果　可決すべきものと決定

市議会を傍聴してみませんか

市議会は公開しており、どなたでも傍聴できます。

本会議の傍聴をご希望の方は、会議当日、市役所３階議会事務局議事課で申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って傍聴席にお入りください。

また、各委員会も傍聴できます。会議日程や議事内容など詳しくは、議事課へお問い合わせください。

皆さまの傍聴をお待ちしています。

傍聴の案内　　会議の予定

本会議の傍聴の流れ



議会棟３階で
申込書に記入



エレベーターで
５階傍聴席へ



本会議を傍聴

熊本地震の災害支援募金と義援金を送金

募金活動等の内容はこちら⇒

令和８年熊本地震により被災された方々を支援するため、全議員で組織する市議会議員団は、８月４日・５日にＪＲ八王子駅北口・南口で街頭募金を行いました。

募金活動で集まった25万9,353円と市議会議員団からの義援金20万円を合わせ、８月６日に熊本県の義援金口座へ送金しました。





令和８年(2026年)第３回定例会　議案の審議結果一覧

			会派の賛否 ※1 議長を除く					結果
			自民党	公明党	共産党	立憲民	諸派※2	
議員提出議案　５件		付託委員会	11人	9人※1	5人	5人	7人	
条例 ※3	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の一部改正	厚	継続審査					
意見書 ※4	米国産一般流通用生鮮ジャガイモの輸入解禁を見合わせることを求める意見書	—	×	○	○	○	○	可決
	心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書							
	地方財政の充実・強化に関する意見書		○	○	○	○	○	
	非核三原則の堅持を求める意見書							
市長提出議案　30件		付託委員会	自民党	公明党	共産党	立憲民	諸派	結果
人事 ※5	教育委員会委員の任命（中嶋富美代（なかじまふみよ）氏）	—	○	○	○	○	○	同意
	公平委員会委員の選任（森安紀雄（もりやすのりお）氏）							
	固定資産評価審査委員会委員の選任（花形守康（はながたもりやす）氏）							
	自治功労者の推戴（野中康雄（のなかやすお）氏、番場弘文（ばんばひろふみ）氏）							
８年度補正予算 ※6	一般会計補正予算（第３号）	全	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	厚						
	介護保険特別会計補正予算（第１号）							
条例 ※5	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	総	○	○	○	○	○	可決
	職員等の旅費に関する条例の一部改正							
	消防団員等公務災害補償条例の一部改正							
	保育園条例の一部改正	厚						
	学童保育所条例の一部改正	文						
	学校設置条例の一部改正							
	歴史・郷土ミュージアム条例の一部改正							
契約 ※5	高尾駅南北自由通路新設工事委託契約の締結	都	○	○	○	○	○	可決
	一般廃棄物指定収集袋の取得（当初予算分）							
	一般廃棄物指定収集袋の取得（６月補正予算分）							
	元本郷地域義務教育学校（仮称）新築工事請負契約の変更	文						
	元本郷地域義務教育学校（仮称）電気設備工事請負契約の変更							
	元本郷地域義務教育学校（仮称）空調換気設備工事請負契約の変更							
７年度決算認定 ※7	一般会計歳入歳出決算認定	決	※8 ○	※8 ○	※8 ×	※8 ○	※8 ○5×2	認定
	国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定							
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定							
	介護保険特別会計歳入歳出決算認定							
	母子・父子福祉資金特別会計歳入歳出決算認定							
	土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定							
	駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定							
	借入金管理特別会計歳入歳出決算認定							
	給与及び公共料金特別会計歳入歳出決算認定							
	下水道事業会計利益剰余金の処分及び決算の認定							可決・認定

○：賛成　×：反対

＜会派名＞
自民党：自民党新政会　　公明党：八王子市議会公明党
共産党：日本共産党八王子市議会議員団　　立憲民：立憲民主・市民の会
※2 諸派：会派に所属しない議員

＜付託委員会＞
総：総務企画委員会　　文：文教経済委員会　　厚：厚生委員会　　都：都市環境委員会
全：４常任委員会（総・文・厚・都）　　決：決算等審査特別委員会　　—：付託せず

議員提出議案

※3 条例　※4 意見書

市長提出議案に関するもの

※5 議案の概要（条例等の内容）　※6 ８年度９月補正予算　※7 ７年度決算　※8 議員の個人別賛否

市政のココを 現状は 課題は 今後は 聞きました

一般質問

９月１日から４日間にわたり29人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

なお、議員ごとの質問の模様は、市議会ホームページで録画配信をご覧ください。

防災

避難所の環境整備は

問　**災害時に避難者が安心して滞在できるよう、避難所の環境を整備することは、喫緊の重要課題と考える。避難所となる学校体育館の空調機のエネルギー源である、電気やガスなどの整備状況は。**

答　市ガス方式が80校である。ＬＰガス方式が22校、都ガス方式が２校、電気方式の空調機は、停電時でも自立運転ができる。また、複数方式の発電機を代替電源として避難所に配備することで、電力確保に努めている。

問　**災害時には、情報収集や家族の安否確認のため、スマートフォン（スマホ）の充電が不可欠となる。停電時でも、空調機稼働時に発電される電気を活用し、避難所で電源を確保することは可能なのか。**

答　ＬＰガス方式の空調機には、稼働時に発電される電気を利用できるよう、コンセントを備えており、スマホ60台程度の充電に対応できる。発電能力の範囲内であれば、その他の電気機器への電源供給も可能である。

一時滞在施設の活用を

問　**今年８月の千葉豪雨では、公共交通機関の運休もあり、帰宅できずに駅などで過ごす方も多かったと聞く。今後、本市で豪雨が続いた際に備え、一時滞在施設の活用を進めてもらいたいがどうか。**



答　主要駅周辺の一時滞在施設としては、市の施設や都立高校のほか、災害協定を締結している民間施設がある。今後も民間施設との協定締結を進め、帰宅困難者対策の充実に取り組んでいく。

医療的ケア児への災害時の対応は

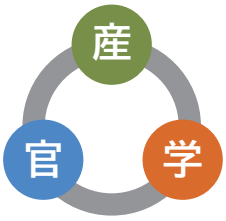
問　**日常生活でたんの吸引や人工呼吸器の使用などが常に必要な、医療的ケア児への災害時の対応で特に懸念されるのが、医療機器維持のための電源確保である。対応可能な福祉避難所※に速やかに避難できるようにすることが求められるが、市の見解は。**

答　発災時、できる限り早期に医療機器等に必要な電源を確保できる環境を整えることは重要と認識している。今後、福祉避難所のほか、公共施設や民間施設の電源等の活用など、早期の電源供給体制と場所の確保について、検討を進めていく。

平時からの防災対策を

問　**市民の命と暮らしを守るためには、行政の備えに加え、平時に利用している民間のサービスやインフラを、災害時に切れ目なく転換するフェーズフリーの視点が不可欠と考える。市は、このようなフェーズフリーの取り組みをどのように進めていくのか。**

答　市内では、民間事業者のほか、大学コンソーシアム八王子でもさまざまな防災の取り組みが進められている。優れた技術やノウハウを持つ民間事業者に加え、高等教育機関である大学等との産学官連携によるフェーズフリーの取り組みをさらに進めていく。

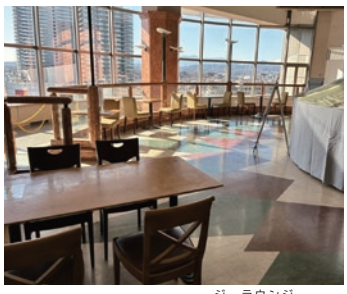


学園都市

交流サロンの活用は

問　**学生と市民との接点を増やす施策として、学園都市センター11階の交流サロンの活用状況は。**

答　学生と市民に文化・学習活動や情報収集の場を提供し、幅広い交流を図ることにより、魅力と活力ある学園都市づくりに寄与する目的の場として、活用している。



交流サロン中央部の「G-LOUNGE（ジーラウンジ）」は、誰もが利用できる交流スペース

問　**交流サロンを学生と地域をつなぐマッチング拠点として整備することについて、市の見解を聞きたい。**

答　活用方法の一つとして、学生と地域をつなぐ場となることは、設置目的にかなうものであり、具体的な活用に向けて取り組んでいく。

※高齢者や障害者等の要配慮者のうち、より専門的な支援の必要性の高い避難者のために確保される二次的な避難所

一般質問は

質問方法

次の３通りから議員が選択します。
①一括質問方式（演壇で行い、３回まで可能）
②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
③１回目は演壇で一括質問、
　２回目以降は発言席で一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問のようす（一括質問方式）

学校教育

児童・生徒の生成ＡＩ利用状況は

問　**急速に社会に普及している生成ＡＩの扱いについて、国から「初等中等教育段階におけるＡＩの利活用に関するガイドライン」が示されたものの、法は整備されていないことから、安易に子どもたちに活用を促すことを危惧している。市の見解は。**



答　生成ＡＩは、有用性が期待される一方で、さまざまな課題も指摘されていることから、児童・生徒の利用に当たり、活用方法の十分な検討が必要と考えている。現在、児童・生徒が使用している学習用端末では、日常的に利用している状況はなく、今後も国等の動向を踏まえ、慎重に対応していく。

高尾山学園の分校設置に向けて

問　**市は、不登校の児童・生徒のための学校である、高尾山学園の分校を東部地域に設置するとのことだが、設置を判断した理由を聞きたい。**

答　不登校の児童・生徒数は増加傾向にあり、これまでは高尾山学園への通学に課題があった東部地域の児童・生徒の選択肢の充実につながるとともに、教育の機会を確保し、安心して過ごすことができる居場所づくりを進める観点から、設置を判断した。

問　**分校の設置場所として、下柚木小学校を選定したとのことだが、保護者や地域の理解を得ながら進めることが重要と考える。保護者や地域との調整状況は。**

答　分校設置の意義や必要性のほか、同校に通学している児童への配慮など、保護者や地域に繰り返し丁寧に説明を行ってきた。その結果、校内に子どもを見守る大人が増えることは、同校の児童にも有益との意見や、東部地域の不登校の子どもたちの居場所を早く確保してほしいなどの意見もあり、分校設置について理解を得ることができた。



空き教室の活用による高尾山学園の分校設置でさらなる登校支援を推進

生涯学習

こども科学館展示物のさらなる充実を

問　**こども科学館は、子どもたちに科学全般への興味を持ってもらえる貴重な施設と認識している。宇宙をテーマにした展示が多いと感じるが、どのような理由があるのか。**

答　宇宙について学ぶことは、天文や物理、地球科学等、幅広い科学分野への関心を広げることができると考えている。また、年齢を問わず興味を持ちやすく、プラネタリウムとの親和性も高いことから、本館の特色をいかせるテーマとして展示を充実している。

問　**科学や工学は進化し続けており、時代に合わせて内容を変える必要があると考える。例えば、最先端ロボットなどを展示するのはどうか。**

答　技術革新が進む中、最先端のロボット技術等に触れる機会を設けることは、子どもたちが科学やものづくりを身近に感じ、興味関心を高める上で有効と認識しており、新たな試みとして、市内企業によるロボット操縦体験会を予定している。

問　**今後も、子どもたちの知的好奇心に応えていくため、展示物を更新していくべきと考えるがどうか。**

答　展示物の更新は、多額な経費を要することから、現時点では大規模な更新は予定していない。引き続き、子どもたちに展示物を安全に体験してもらうことを最優先に保守点検を行うとともに、イベント・講座の充実により展示機能を補完しながら、効果的な施設運営に努めていく。


科学や宇宙などのさまざまな展示物を体験できるこども科学館

本市議会の



議員席前に設置した発言席で行う一般質問のようす（一問一答方式）

質問内容（議案の内容以外の質問に限ります）
本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間
答弁を含め、一人当たり60分以内です。

福祉

地域共生社会の実現に向けて

問　**民生委員・児童委員は、地域住民の見守りのほか、行政や関係機関との橋渡しなど、地域共生社会の実現に欠かせない重要な役割を担っている。一方で、都市化の進展やライフスタイルの多様化等に伴う、近年の課題があると考えるが市の認識は。**

答　人と人とのつながりが希薄化する中、地域の見守り活動の困難さが増しているほか、地域によって抱える課題の違いもあると認識している。

問　**活動・相談記録や情報共有等のシステム化は、委員が活動しやすい環境づくりになると考える。DX推進への市の見解を聞きたい。**

答　DX推進は、委員の負担軽減と個人情報保護の両面で重要と考える。本市は、民生委員・児童委員全員にモバイルパソコンを貸与し、情報共有や効率化を図るとともに、高いセキュリティ環境を確保している。今後も、DXを推進し、安全性の確保と活動しやすい環境整備を進めていく。


民生委員・児童委員が集まる会議でも、モバイルパソコンを活用

問　**生活困窮や孤独・孤立、ヤングケアラーなど、分野を超えて複雑化・複合化した生活課題を抱える世帯が増え、支援する側の負担も大きくなっていると考える。市はどのような体制で課題解決に取り組むのか。**



答　庁内の関係所管で構成する会議において、生活課題や地域資源の情報共有を図り、分野を超えた横断的な対応を検討できる体制を整えている。また、医療・福祉など幅広い機関が連携して支援方法を検討するとともに、関係者の連携を強化するため、現場の支援者を支援する体制づくりを進めている。

高齢者

今後の認知症施策は

問　**9年度からの次期計画である高齢者計画・第10期介護保険事業計画では、認知症施策について、どのように進めていくのか聞きたい。**

答　これまでの計画に認知症との共生と予防を位置付けてきたが、現在策定中の次期計画にも盛り込み、推進していく予定である。認知症当事者や、その家族などの意見を次期計画に反映し、実効性のある施策展開を図りたいと考えている。

問　**認知症との共生を考える上で、当事者や家族が互いに支え合うために、相談や交流ができる「認知症カフェ」の果たす役割は大きいと考える。市の各日常生活圏域※で開催するなど、さらなる拡大が必要ではないか。**



物忘れや認知症について、気軽に話せる場である認知症カフェ

答　本市には、常設の認知症カフェがあるほか、高齢者あんしん相談センターや、民間のコーヒーショップなどでも認知症カフェを開催している。引き続き、高齢者あんしん相談センター等の運営支援を行うとともに、民間企業等の協力が得られるよう、施策展開を図っていく。

介護人材確保に向けたさらなる取り組みを

問　**高齢化の進展に伴い介護サービスへの需要が高まる中、介護人材の確保が課題となっている。介護人材確保には、市だけではなく都や事業者等と連携した広域的な取り組みが重要と考えるがどうか。**

答　都が実施する人材確保・育成に関する事業の周知等を図るとともに、都の介護人材担当者や、医療・介護事業者などが参加する懇談会を開催し、課題について情報共有等を行ってきた。今後も、連携して取り組みを進めていく。



※市民が住み慣れた地域で、適切なサービスを受けながら生活の質を維持して暮らし続けることができるように、地理的・社会的条件や施設の整備状況などを考慮して市域を区分したもので、現行計画では21圏域に区分している

●正副議長と議会運営委員長は、慣例で、一般質問を行わないこととしています

⇐質問者の発言の題目はこちら

一般質問を行った議員です(発言順)

9月1日
冨永純子　五間浩子　星野直美　西室真希　内田由香利　九鬼ともみ　森重博正　及川賢一

9月2日
玉正彩加　金子亜希子　立川寛之　日下部広志　村松徹　古里幸太郎　渡口禎

9月3日
石井宏和　森喜彦　船木翔平　綿林夕夏　岸田功典　鈴木勇次　長谷川順子

9月4日
小林秀司　久保井博美　鈴木玲奈　川村奈緒美　浜野正太　市川克宏　山本貴士

道路管理

豪雨時のアンダーパス さらなる対策を

問　**本市でも、7月の集中豪雨でアンダーパスが冠水し、車両が立ち往生する事故が発生したが、今後同様の事故を繰り返さないための対策は。**

答　車両の進入をより確実に防止するため、遮断機など物理的な進入防止対策の実施や、予防的な事前通行規制の検討など、監視体制の強化と併せて、道路利用者の安全確保に努めていく。


アンダーパス冠水時の車両の進入防止に向けたさらなる対策を

問　**アンダーパスへの監視カメラの設置状況は。**

答　過去の冠水履歴から、特に監視が必要となる1カ所に設置している。今後は、重点的な監視が必要となるアンダーパスを対象に、順次カメラの設置を進め、監視体制の強化を図っていく。



問　**車両が危険なアンダーパスに近づかないよう、事前にルート回避を促す対策が必要と考える。市公式LINEなどでリアルタイムにプッシュ通知を送る仕組みの構築を進めるべきと考えるが、市の見解は。**

答　リアルタイムのプッシュ通知は、道路利用者の安全確保や迅速な危険回避の観点から、有効な手法と考えている。現在、市ホームページで公開している、市内の道路・河川等の状況を確認できるシステム「Ri(リ)sK(スク)ma(マ)」の発展的な活用として検討していく。

平時における ドローンの活用は

問　**ドローンは、災害時だけではなく、経費的・技術的に有用な事前防災ツールであると考える。平時の業務においても活用しているとのことだが、具体的な活用方法は。**

答　ドローンの空撮技術向上のための研修を実施しているほか、斜面の補強工事の点検や、道路の事前状況調査などで活用している。また、業務委託でも、安全性等の観点から橋の点検で活用している。



治水対策

内水氾濫への取り組みは

問　**近年の集中豪雨により、下水道や水路の排水能力を超える内水氾濫が発生するなど、住宅浸水等の都市型水害のリスクは高まっていると考える。都が対策の目標とする降雨量を引き上げた中、本市も治水目標※1の見直しが必要ではないか。**

答　現時点で、目標降雨量の見直しには至っていないが、集中豪雨が頻発化し、降雨量が増加傾向にあるなど、気候変動リスクは認識している。今後は、公共施設や住宅への雨水貯留浸透施設の設置推進が重要と考えており、関係所管と連携し取り組んでいく。

問　**本市の降雨量が増加傾向にあることを踏まえ、流域全体で雨水を受け止める流域治水の視点が重要と考える。市内の各地域で雨水の流出を抑制するためには、市民一人ひとりの取り組みが必要なことから、水循環計画では、住宅でも導入しやすい雨庭※2の普及促進を位置付けている。市は、雨庭の普及にどのように取り組んでいるのか。**


富士森公園に設置した雨庭
雨庭について詳しくはこちら⇑

答　雨庭の認知度向上を図るため、環境フェスティバルで周知啓発を行ったほか、モデル地区の富士森公園と長池公園でワークショップを実施してきた。今年度は、別のモデル地区において、住宅への設置を意識した実践的な雨庭の設置を予定しており、住宅への導入が広がることを期待している。

※1本市は「水を治める」取り組みとして、時間60ミリメートル降雨での床上浸水ゼロを目標としている
※2雨水を一時的に貯めて地中へ浸透させる構造を持った空間のこと。下水道や水路等への雨水流出を遅らせることができる

議会活動レポート

市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。ここでは、各委員会がテーマを決め調査する所管事務調査など、主な活動をお知らせします。

調…所管事務調査の活動
報…市からの報告に対する質問など

総務企画委員会

所管事務調査テーマ

地域の安全・安心の確保に向けた
地域防災力のさらなる向上

8/19 報 「令和８年熊本地震」被災地支援状況について ほか１件
調 提言等の方向性の協議
懇談会「持続可能な消防団組織に向けた取組について」(市消防団)
9/9 調 提言内容の検討


8/19 懇談会

文教経済委員会

所管事務調査テーマ

歴史と文化、日本遺産を生かした
地域振興

8/19 報 ツキノワグマに対する対応等について ほか３件
調 提言等の方向性の協議
9/9 報 「ツキノワグマ対応マニュアル」の策定について ほか１件
調 提言等の方向性の協議



厚生委員会

所管事務調査テーマ

青年期・成人期における発達障害に係る
就労支援と家族支援について

8/20 **議員提出議案審査**※　結果：継続審査
調 提言内容の検討
9/10 報 高齢者インフルエンザ定期接種及び小児インフルエンザ予防接種費用助成の前倒し実施について
調 提言内容の検討



都市環境委員会

所管事務調査テーマ

グリーンインフラの推進と
その資金調達方法について

8/20 報 「桑都の杜」オープンに向けた取り組みについて
調 提言内容の検討



※議案名「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の一部を改正する条例設定について」

■発行 八王子市議会
■編集 議会運営委員会

ホームページの検索はこちらから
八王子市議会 検索

〒192-8501
元本郷町3-24-1
■議会事務局 庶務調査課
TEL 620-7311 FAX 626-2458
b241100@city.hachioji.tokyo.jp
■議会事務局 議事課
TEL 620-7312

次回の定例会の主な予定

≪令和８年（2026年） 第４回定例会≫

日	月	火	水	木	金	土
	会議の予定はこちら⇒			11/19 招集告示日	20	21
22	23 勤労感謝の日	24	25 議会運営委	26	27	28
29	30 開会日 議場コンサート♫ 議会運営委	12/1	2	3	4	5
	本会議 ネット（一般質問）					
6	7 議会運営委 本会議 ネット（議案審議等）	8 総務企画委 文教経済委	9 厚生委 都市環境委	10	11	12
13	14	15	16 議会運営委	17	18 最終日 本会議 ネット（委員会審査報告・採決等）	

●会議（議会運営委を除く）は、10時から開会します　委：委員会
●定例会の開会中以外にも、会議を開催しています　ネット：市議会ホームページで中継
●問い合わせ：議事課

表紙写真募集！

あなたの１枚を「ひびき」の表紙に

募集内容 市内の行事・風景・まちなみなど **冬・初春** をイメージした写真

◆写真の縦・横は問いません
◆できるだけ撮影場所がわかる写真でお願いします
◆掲載は９年２月１日発行の285号です

締　切 12月21日(月)



◀ ８年２月１日号の表紙



応募要領はこちら⇒

問い合わせ：庶務調査課

傍聴者からの声



まちをより良くするための議論を聴きに訪れたい

小林（こばやし） 留美（るみ）さん（明神町）

自分が投票した議員の実際の活動を見てみたいと思い、傍聴に足を運びました。以前にも、議会が開かれているようすを見せたいと思い、中学生の子どもと一緒に傍聴に来たこともあります。

議会での議論は、想像していたほど難しい言葉ばかりではなく、とてもわかりやすいものでした。ただ、事前に市の施策名などを知っておくと、内容をより理解しやすいと思います。

自らの言葉で発言する議員の姿を見ると、応援したくなります。今後も、八王子をより良くするための議論を聴きに、傍聴に訪れたいです。

次回の議場コンサート♫

日時 11月30日(月)の本会議前
午前９時30分～９時50分

受付 市役所３階　議事課
（午前９時から受付開始）

前回の出演　９月１日



出演者募集中！

定例会の初日に
出演できる方を募集しています

対象 市内在住・在勤・在学の個人や団体

内容 歌唱や楽器の演奏

問い合わせ：庶務調査課

募集情報はこちら⇒

市議会からのお知らせ

■詳しくは会議録で
本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市政資料室や各市立図書館などで閲覧できます。また、市議会ホームページにも掲載しています。
なお、８年第３回定例会の本会議の会議録は、11月中旬に完成予定です。
会議録はこちら⇒

■会議の模様はホームページで
本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね７日後から録画を配信します。
会議の模様はこちら⇒

■掲載内容についてのご意見
掲載内容についてお気付きの点がございましたら、庶務調査課へお寄せください。
今後の市議会だより編集にいかすため、毎号「ひびき」アンケートを実施しています。皆さまのご協力をお願いいたします。
アンケートはこちら⇒